



速

報

2016年No.296
新春号
長崎市桜町9-6
長崎県勤労福祉会館内
TEL (095)826-8905
FAX (095)826-8950
2016年1月1日
発行増本利恵
責任者



連合長崎
会長 森 光一

連合長崎構成組織の組合員並びにご家族のみなさん、新年明けましておめでとうございます。皆様には健やかで気持ち新たなお正月を迎えられたこととお喜び申し上げます。

さて、昨年は春の統一地方選挙で皆様のご支援を頂きながらも一部の選挙区では敗戦を余儀なくされ悔いを残す結果となりました。引き続き私たちは生活者・労働者目線の政治をめざし次の戦いに挑まなければなりません。本

年7月には参議院選挙を控えています。連合組織内議員の勝利はもとより長崎県選挙区での勝利も極めて重要です。改めてのご支援・ご協力をお願いいたします。巨大与党として権力を維持した自民党は国民重視の政治ではなく、「数の暴挙」により経営者や富裕層重視の政治をさらに加速することが危惧され、日本の将来に不安を抱かざるを得ません。連合長崎は全ての働く者の代表として「働くことを軸とする安心社会」の実現へ向け以下の2点を基本として広く県民に理解と共感を求める活動を展開して行きます。

一つ目は「ストップ・ザ・格差社会!暮らしの底上げ実現」に向けた行動と世論喚起についてです。

残念ながら安倍政権は「労働者派遣法」を強行採決により改悪しました。連合は派遣労働は生活するうえでの「一時的な労働」と位置づけていますが、今回の改正で「生涯派遣で低賃金」の制度となりました。しかし、連合本部や民主党などの野党の最後まで抵抗によって39項目の付帯決議の採決に至り大きな足かせを付けることが出来たのは評価に値すると思います。今後も一定年収以上の労働者に対し労働時間ルールの対象外とした「ホワイトカラー・イグゼンプション」による残業代ゼロ政策や不当解雇を訴えて裁判などにより「解雇は無効」との判定があっても、お金さえ払えば労働者をクビにできる制度などを次期国会にも提出する構えです。格差拡大を阻止し、格差解消への行動を強化することが、日本の将来を背負う子や孫たちの為にも安心できる社会を残すことに繋がります。本年も引き続き連合本部と連携を取りながら行動を起こします。

二つ目は2016春季生活闘争についてです。

依然として低賃金に苦しむ労働者に追い打ちをかける



謹賀新年

2016年1月

第14回フォトコンテスト最優秀作品
「清流のほたる」内田 貴浩(佐世保重工労組)

ように来年4月には消費税が10%に再増税される見通しです。また、国民は円安の影響で輸入品を中心に生活必需品の高騰に歯止めがかからず日々の生活に困窮しているのが実態です。内閣府が発表した国内総生産(GDP)は前年比の年率換算で0.8%減少しています。安倍政権は2015年度補正予算を編成し「一億総活躍社会」という名目で景気対策とTPPによる農業対策費に充当する見通しです。私たちの税金が景気対策のまやかしにばかり使われようとしており、根本の解決策に至っていないと思います。我が国にとって一番必要な成長戦略は「社会保障制度の拡充」と「超少子高齢化への対策」と考えます。このことが解消されなければ個人消費が拡大されず、人口は減少し税収も伸びず景気回復への道筋は遠のく一方であると思います。このような状況の中で私たちは「2016春季生活闘争」での成果を求め、闘いを展開しなければなりません。期待感や雰囲気だけでことが運ぶものではなく、地場中小を含めた粘り強い交渉で、下がり続けている実質賃金の底上げが必要となります。それぞれの組織に対し早期の戦術展開と要求設定をお願いするところがあります。

他にも組織強化と拡大、核兵器廃絶への取組み、長崎県や各行政への要請行動、参議院選挙への対応など多くの課題が山積しています。

いずれも私たちの生活に直接影響する大切な課題です。構成組織のみなさんとともに行動を起こしていきたいと思います。

皆様の旧に倍するご支援・ご協力をお願いすると共に、2016年が皆さんにとって希望に満ちた輝かしい一年となりますようご祈念申し上げ年頭の挨拶といたします。



日本労働組合総連合会
会長 神津里季生

新しい年を迎えるにあたり、謹んでご挨拶を申し上げます。

今年は、さまざまな意味で正念場の一年です。まず「底上げ・底支え」「格差是正」の実現です。持続可能な社会の基盤は一人ひとりの「明日への希望」であり、その原動力は労働組合による要求と、労使の真摯な交渉に他なりません。連合は2016春季生活闘争を通じて、「従来の発想やパターンにとらわれない」「より主体的」な取り組みで、付加価値の公正な分配、雇用形態・企業規模・男女間の格差是正に全力を挙げねばなりません。同時に、人口減少社会や産業構造が変化する中で、いかに人間らしい働き方や公正な処遇を実現すべきか、労使で協議を深める起点の年とすることも大切です。

「1000万連合」に向けた一層の取り組みも必要です。仲間を増やす不断の努力無くしては、雇用や労働諸条件を守り、政策・制度を実現する力は保てません。組織拡大は労働運動の生命線であるとの危機感を改めて共有し、非正規雇用や中小企業をはじめ、サプライチェーン全体の組織化に向けて、構成組織、地方連合会、連合本部が総掛かりで取り組まなければなりません。

政治の転換点をつくる上でも重要な一年です。「一強多弱」のもとで、立憲主義や民主主義を軽視し、働く者や生活者の声に向き合わない「上から目線」の政治が行われています。今こそ、本来の民主主義、生活者・働く者の現実に焦点を当てた政治を、私たちの手に取り戻すべき時です。そのための明確な対抗軸を広く世に訴えるため、新たに開始した「クラシノソコアゲ応援団！ 2016 R E N G O キャンペーン」への積極的な参画と、職場・地域での展開に格段のご協力をお願いします。その上で、一強状態を打ち破り、政権交代可能な二大政党的体制のもとで緊張感のある政治を実現するため、来たる参議院選挙が極めて重要なポイントとなります。組織内比例候補12名をはじめ、連合推薦候補の勝利に向けて、職場や地域での理解を広げる取り組みに全力を挙げようではありませんか。

いずれにおいても、私たち自身の行動が問われる一年です。厳しいときこそ、行動の真価が問われます。「働くことを軸とする安心社会」の実現に向けて、連合運動が持つ価値に対する幅広い理解と共感の輪を広げるべく、ともに行動していきましょう。

本年も連合に対する一層のご支援をお願いするとともに、皆様の益々のご健勝とご活躍を祈念いたします。



民主党長崎県総支部連合会
代表 衆議院議員
高木 義明

連合長崎の皆様、明けましておめでとうございます。皆様おそろいで、良いお年をお迎えのこととお慶びを申し上げます。旧年中は、公私ともに温かいご指導、ご支援をいただき誠にありがとうございました。

さて、わが国にとって最も大きな問題のひとつは、人口減少と少子高齢化の進行です。今年こそ、社会保障制度の維持、その裏付けとなる経済力と良質な雇用を再生すること、社会的な格差是正など基本的な課題に正面から取り組まねばなりません。

昨秋の安保法制や労働者派遣法にみられるような安倍政権の横暴を許さず、働く者の声を国政に届けることが私たちの役割です。そのためにも本年7月参議院選挙において、選挙区をはじめとして、比例代表区の支援候補者を勝利させねばなりません。

今年は申年です。「申」という文字は背中のみっすぐ伸びた形を表しています。私も背筋を伸ばして、皆様の政策実現に全力を尽くす決意ですので、更なるお力添えをお願いいたします。

新年にあたり、ご家族皆様のますますのご健勝とご多幸を心から祈念いたします。



社民党長崎県連合
代表 吉村 庄二

新年明けましておめでとうございます。そして昨年1年間、統一自治体議員選挙をはじめ、連合長崎の皆様には大変お世話になりましたことを感謝申し上げます。

さて、2014年暮れの総選挙で圧勝した安倍自公政権は、憲法を踏みにじって「戦争法」を強行可決させ、いよいよ日本の自衛隊が海外に出て戦争をする態勢をつくってしまいました。また、労働者派遣法の改悪を強行したばかりでなく、残業ゼロ法案や解雇の金銭解決など労働基準法の改悪も決してあきらめておらず、労働者が長きにわたって築いてきた諸権利をことごとく破壊しようとしています。

この暴挙をくい止めるには、本年戦われる参議院選挙ですべての野党が協力して勝利し、安倍政権を退陣に追い込む必要があります。

社民党は微力ではありますが、全力で戦う決意でありますので、なにとぞご支援のほどお願い申し上げます。

連合長崎の皆様のご健勝・ご健闘をお祈り申し上げます。



長崎県退職者団体連合
会長 辻 純

老人力の発揮で参院選勝利！

連合長崎に結集する組合員の皆さん、新年明けましておめでとうございます。

安倍総理は、彼の信念である「戦後レジウムからの脱却」を目指して、着々と実行に移しています。多くの憲法学者が違憲を唱える中、昨年「安全保障関連法」を強行採決したのが典型的なものです。

また一方、「世界で一番企業が活動しやすい社会」をつくるとして、労働者派遣法を改訂するとともに、解雇の金銭解決制度の導入、限定正社員、ホワイトカラー・エグゼンプションなど労働者保護ルールの改悪を企図しています。

私たち高齢・退職者にとって医療も介護も年金も、現役労働者の助けによらないものはありません。したがって、現役労働者の雇用・賃金・労働条件が確たるものであることが必須条件です。

現退一致で、「働くことを軸とする安心社会」を目指すため、参院選に勝利し安倍政権に歯止めを掛けましょう。



長崎県知事
中村 法道

新年を迎えて

新年明けましておめでとうございます。

皆様には、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平成28年度は新たな総合計画の初年度にあたります。

我が国が本格的な人口減少社会を迎え、地域間の競争が一層激しさを増す中、本県の構造的課題の解決を図り、将来にわたって持続的に発展していくためには、本県の強みを最大限に活かしつつ、人口減少対策や産業振興・雇用対策等の一層の強化を図り、活力ある、たくましい長崎県を創り上げていくことが重要です。

このため、新たな総合計画では、「人、産業、地域が輝く たくましい長崎県づくり」の実現をめざす5つの将来像を掲げ、本県の未来を切り開く新たな施策や様々なプロジェクトを戦略的かつ積極的に展開してまいりたいと考えています。

ただ、本県の課題を克服するためには、行政の力だけではなく、県民の皆様をはじめ、地域社会の様々な力を結集して取り組んでいくことが何よりも大切であります。

これからの長崎県の発展のため、どうか皆様のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、この一年が皆様にとりまして素晴らしい年となりますよう心からお祈り申し上げます。

「**連合長崎青年委員会第26回総会**」を開催

～若い力を結集しよう！パワフル！ジョイフル！ハートフル！～

連合長崎青年委員会は、11月28日(土)教育文化会館において、青年委員会第26回総会を開催しました。

まず始めに、青年委員会を代表して中村委員長があいさつを行い、引き続き来賓として連合長崎宮崎事務局より激励のあいさつをいただきました。

報告事項では「2015年度活動経過報告」として、レクリエーションや構成組織青年委員会との意見交換、連合本部古賀会長との直接対話(KNT47)、女性委員会と連携した取り組み、平和への取り組みなどについて報告をおこないました。

続いて、第1号議案の2016年度運動方針から、第2号議案の2016年度予算、第3号議案の役員選出まで提起を行い、満場一致で承認されました。また、本総会ではスローガンを「若い力を結集しよう！パワフル！ジョイフル！ハートフル！」とし、①ふれあい・交流を深める活動、②次世代の青年リーダー育成のための意見交換・学習会、③平和への取り組み、④福祉・



ボランティア活動、⑤政治活動への取り組み、を基盤に「力強く、楽しく、心通じ合う」活動を展開していくことを確認しました。

最後に、百田智史 新委員長(JP労組)による参加者全員の「団結ガンパロウ」で総会を締めくくりました。

「**連合長崎女性委員会第26回総会**」を開催

～社会のあらゆる分野の性差別をなくし、男女平等社会を実現しよう！～

連合長崎女性委員会は、11月28日(土)教育文化会館において、女性委員会第26回総会を開催しました。

まず始めに、女性委員会を代表して山中委員長があいさつを行い、引き続き来賓として連合長崎宮崎事務局



局長より激励のあいさつをいただきました。

報告事項では「2015年度活動経過報告」として、女性委員会が主催する学習会や、男女平等参画実現に向けた取り組み、連合長崎や青年委員会と連携した平和の取り組み、東北のこども応援わんぱくプロジェクト等について報告を行いました。

続いて第1号議案として、『社会のあらゆる分野の性差別をなくし、男女平等社会を実現しよう！』を目標に「2016年度の活動方針」、第2号議案「2016年度予算」、第3号議案「役員選出」まで提起を行い、満場一致で承認、委員長として中村正子さん(日教組)が就任いたしました。

最後に総会宣言として、『男女双方のワーク・ライフ・バランスの実現で「働くことを軸とする安心社会」を創っていく』ことを確認し、総会を閉会しました。



連合 愛のカンパ

助成支援団体募集!!

「連合・愛のカンパ」とは

「連合・愛のカンパ」は、人道主義の立場から「自由、平等、公正で平和な世界の実現」に向け、社会貢献活動として取り組むものであり、NGO・NPO 団体等の事業・プログラムへの支援、および自然災害等による被災者に対する救援・支援を目的としています。

今回は、助成支援団体（事業）として、下記の通り募集を行います。

地域助成対象資格

- 連合組合員及びその家族、OB（家族を含む）が積極的に運営に参加しているNGO・NPO団体等が行う具体的事業プログラム。
- 連合長崎構成組織、地協・ブロックが日常的な活動で連携しているNGO・NPO団体等が行う具体的事業プログラム。

対象となる活動

- 大規模災害などの救援・支援活動
- 戦争や紛争による難民救済などの活動
- 人権救済活動
- 地球環境保全活動
- ハンディキャップをもった人たちの活動
- 教育・文化などの子どもの健全育成活動
- 医療や福祉などの活動
- 地域コミュニティ活動
(レクリエーション活動を除く)
- 生活困窮者自立支援



募集期間

- 2016年1月1日（金）～
3月31日（木）まで

お問い合わせ

- 具体的な内容等について、不明な点は連合長崎までお問い合わせ下さい。

連合長崎 担当 増本 TEL 095-826-8905

- 各組織での募集・集約方法については、各組織担当者へお問い合わせ下さい。

その他

助成に必要な書類提出や審査・面談などがあります。

必要な書類等は、連合長崎ホームページをご確認下さい。

「連合長崎」で検索 → 「お知らせ」 → 「『連合・愛のカンパ』地域助成団体の募集」

— 新年あけましておめでとうございます —



副会長
本村 和博
(自治労)



副会長
江口 茂広
(基幹労連)



副会長
石井 健次
(U Aゼンセン)



副会長
岩永 洋一
(J P労組)



副会長
本多 毅
(電力総連)



副会長
上田 洋一
(情報労連)



事務局長
宮崎 辰弥
(情報労連)



副事務局長
佐竹 明彦
(自治労)



副事務局長
増本 利恵
(自治労)



副事務局長
北川 淳
(J P労組)



副事務局長
芳川孝太郎
(電力総連)



副事務局長
鴨川 博明
(基幹労連)



執行委員
山下 耕司
(自動車総連)



執行委員
桜井 健一
(電機連合)



執行委員
山口 裕志
(運輸労連)



執行委員
藤澤 恒昌
(全駐労)



執行委員
藤田 康之
(フード連合)



執行委員
船津 輝寛
(自治労)



執行委員
野原 秀昭
(交通労連)



執行委員
松本 順一
(海員組合)



執行委員
堤 典子
(日教組)



執行委員
金原 剛蔵
(自治労連)



執行委員
田尻 正行
(私鉄総連)



執行委員
岩口 保則
(J R連合)



執行委員
嶋 三郎
(国公総連)



執行委員
鶴田 英二
(全自交労連)



執行委員
岩永 財
(全国ガス)



執行委員
廣田 勝美
(長崎私交通)



執行委員
酒井 隆
(長崎地協)



執行委員
菊永 昌和
(佐世保地協)



執行委員
入江 良美
(諫早・島原地協)



執行委員
塩入 高志
(大東・豊岐・対馬地協)



執行委員
高井良芳行
(五島地協)



執行委員
中村 正子
(女性委員会・日教組)



執行委員
坂本久美子
(女性委員会・自治労)



会計監査
倉田 昌明
(自治労)



会計監査
橋田 和廣
(交通労連)



会計監査
貴戸 淳二
(全労金)



書記
深江 絵美
(連合長崎)



書記
草野いづみ
(連合長崎)



書記
本郷 栄子
(佐世保地協)



2016年皆さんとともに頑張ります！よろしくお祈りします。